

2015年3月期 決算説明会資料

2015年5月12日



パンチ工業株式会社

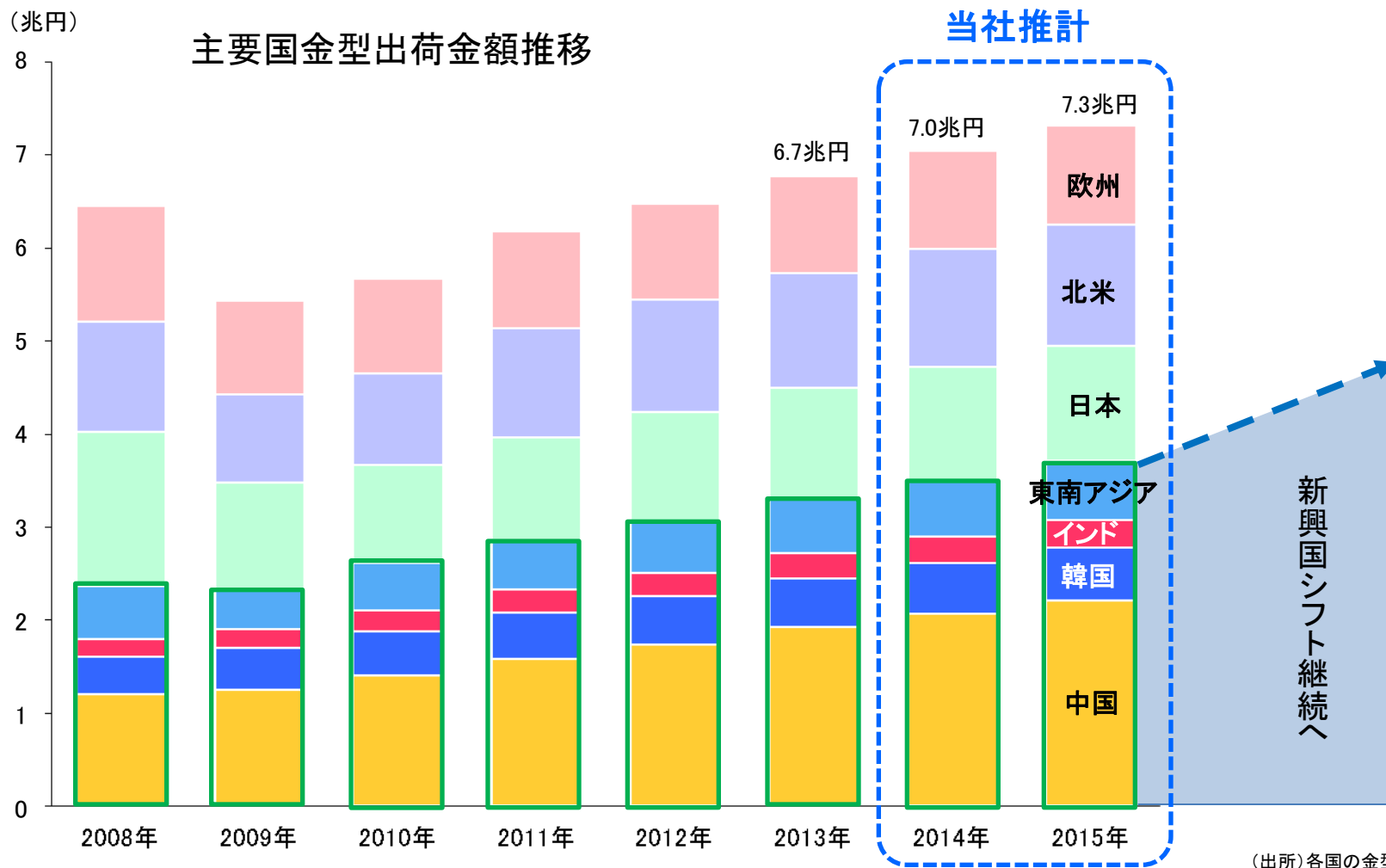
(証券コード: 6165 東証第一部)

1. 経営環境
2. 2015年3月期 決算概況
3. 2016年3月期 業績予想
4. 中期経営計画
「バリュークリエーション15」の進捗
5. 参考資料

1. 經營環境

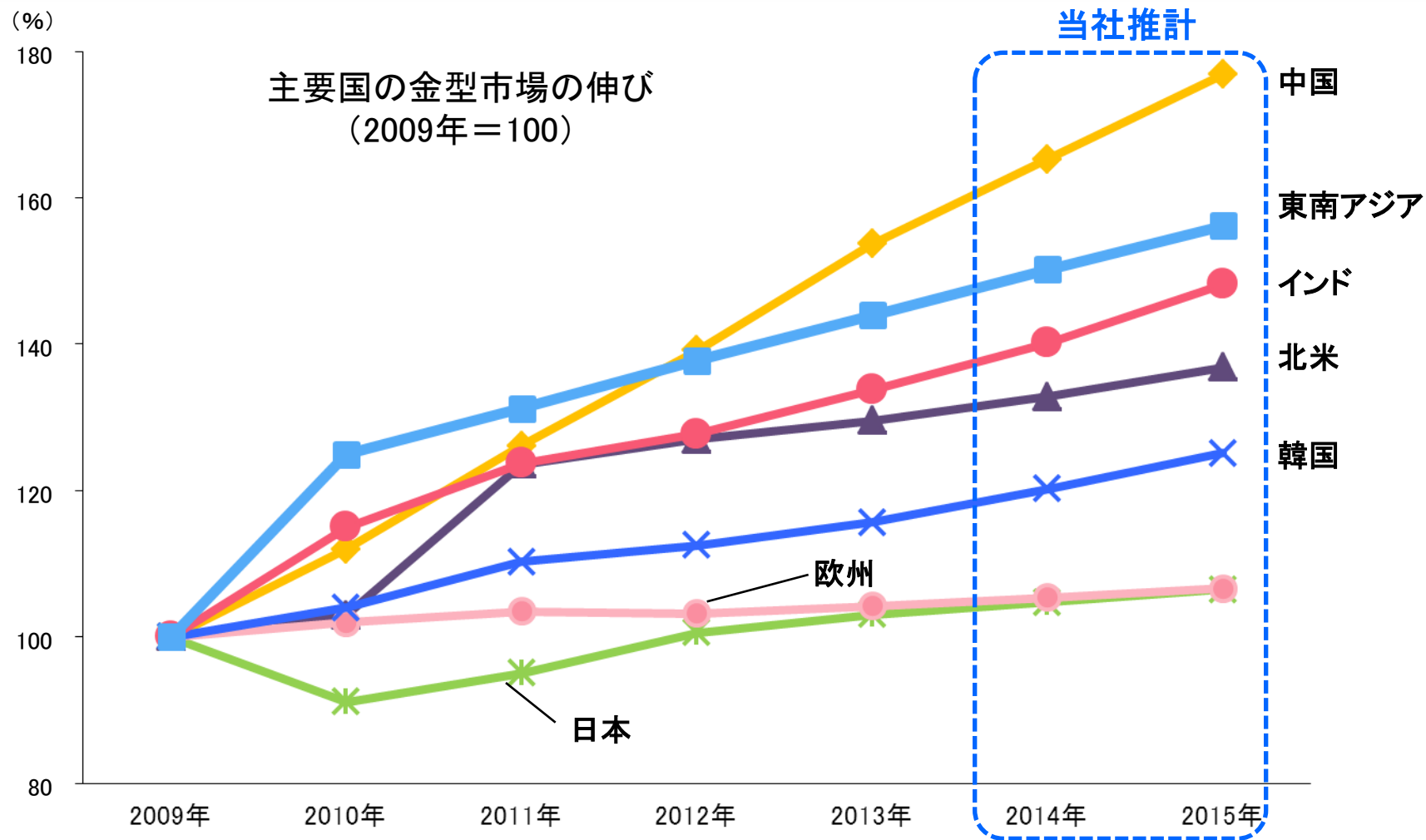
金型市場の予想(金額)

リーマンショック直後をボトムに着実に回復。緩やかながらも成長基調。



金型市場の予想(成長性)

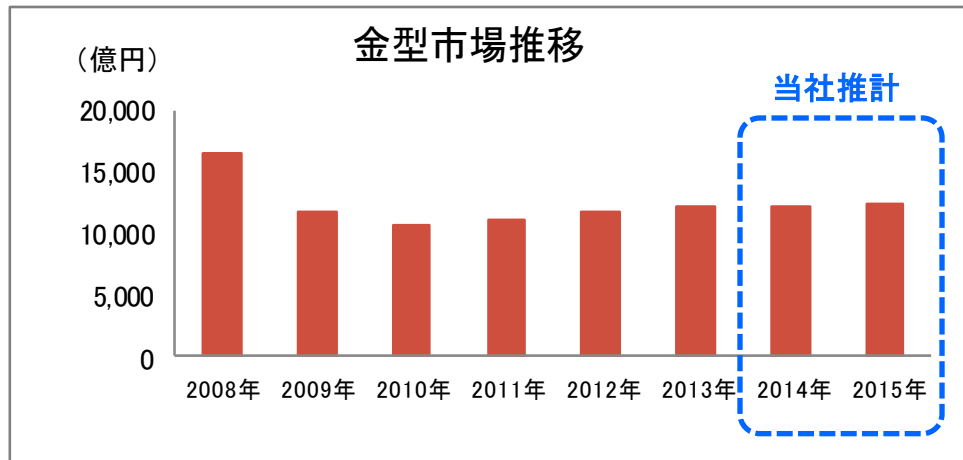
金型需要は成熟市場から新興国市場(中国・インド・東南アジア)へシフト。



(出所)各国の金型工業会



国内市場



消費税率の見直しによる反動減はあったものの、自動車、家電・精密機器が堅調に推移。設備投資需要の回復で産業機械は大幅増。技術革新著しい3Dプリンターの動向に注目。

顧客業界 動向

自動車

消費税率見直しによる調整はあったものの、生産台数は前年を上回った。

電子部品

スマートフォンの需要が一巡ながら、前年並みを維持。

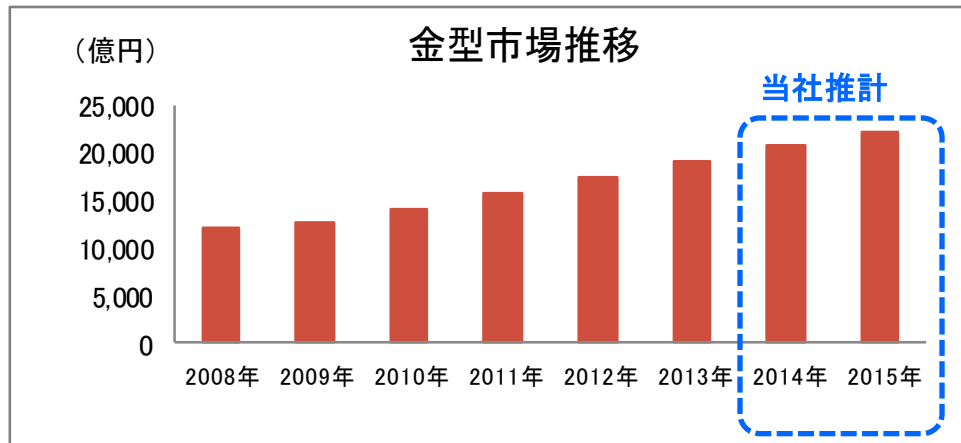
その他

産業機械は、内外の幅広い業種で設備投資が回復し大幅増。

課題

食品・飲料関連等の新分野への積極的な取り組み。

中国市場



経済成長には減速感があるものの、好調な自動車に加え、電子部品・半導体、家電・精密機器等の幅広い業種で成長を維持。

顧客業界 動向

自動車

2014年の生産台数は2,372万台、2015年には2,538万台となる見込み。

電子部品

2014年に大幅に伸長したスマートフォン市場は、2015年も引き続き拡大する見込み。

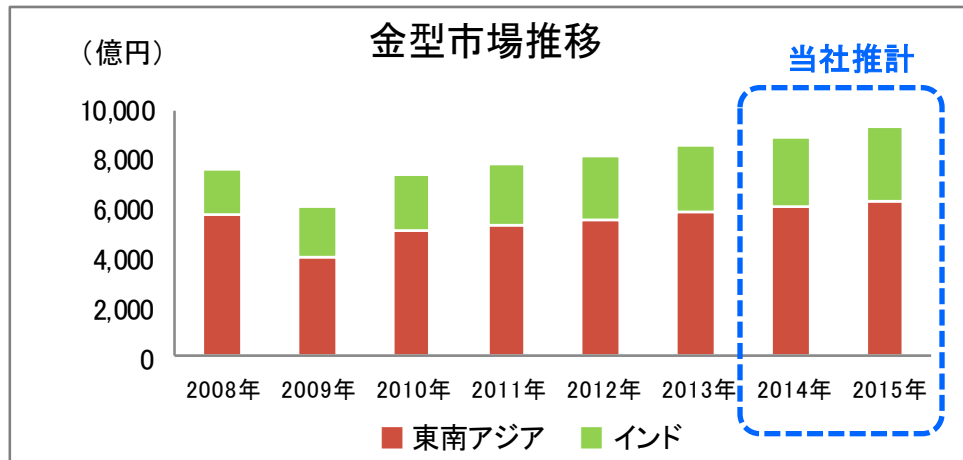
その他

半導体、家電、精密機器等も堅調。

課題

戦略製品や医療関連等の高付加価値製品への取組みと航空宇宙関連の開拓。

東南アジア・インド市場



【東南アジア】インドネシア、ベトナム、マレーシア、フィリピン等が牽引し、全体で5%の成長を維持。

【インド】新政策Make in Indiaで、成長率も7%超と回復基調。

顧客業界 動向

自動車

生産台数は、インドネシアやマレーシアでは増加したが、タイが減税措置終了の影響等で減少し、全体では前年割れ。

電子部品

低価格のスマートフォンの需要が旺盛で好調を維持。

その他

半導体や家電が堅調に推移。

課題

事業拡大と成長市場でのポジションの確立。

2. 2015年3月期 決算概況

2015年3月期 決算ハイライト

海外が大きく伸長したことに加え、国内が堅調に推移し、増収増益を確保。中期経営計画「バリュークリエーション15」の達成へ大きく近づいた。

売上	連結	連結売上高は、前年比117%、50億円増の344億円となった。
	日本	旺盛な設備投資需要もあり、産業機械が大幅に回復したことに加えて、自動車や家電・精密機器が堅調に推移し、前年比6%増の152億円となった。
	中国	好調な自動車に加え、電子部品・半導体など幅広い業種が堅調。戦略製品も二桁増となり、前年比25%増の162億円となった。
	その他	東南アジアグループの連結効果もあり、東南アジア、欧州での売上拡大で前年比44%増の29億円となった。
利益		売上増に加え、仕入れコスト低減、工場稼働アップによる原価率の低減及び単体収益体質改革活動の成果もあり、営業利益は前年比148%、5.6億円増の17.2億円となった。同時に、経常利益、当期純利益も前年を大きく上回った。
ネット資金		当期純利益の大幅増と公募増資により、期首より23.6億円改善した。



2015年3月期 損益計算書サマリー

売上高及び各段階利益が前年実績、修正予想を上回る結果となった。

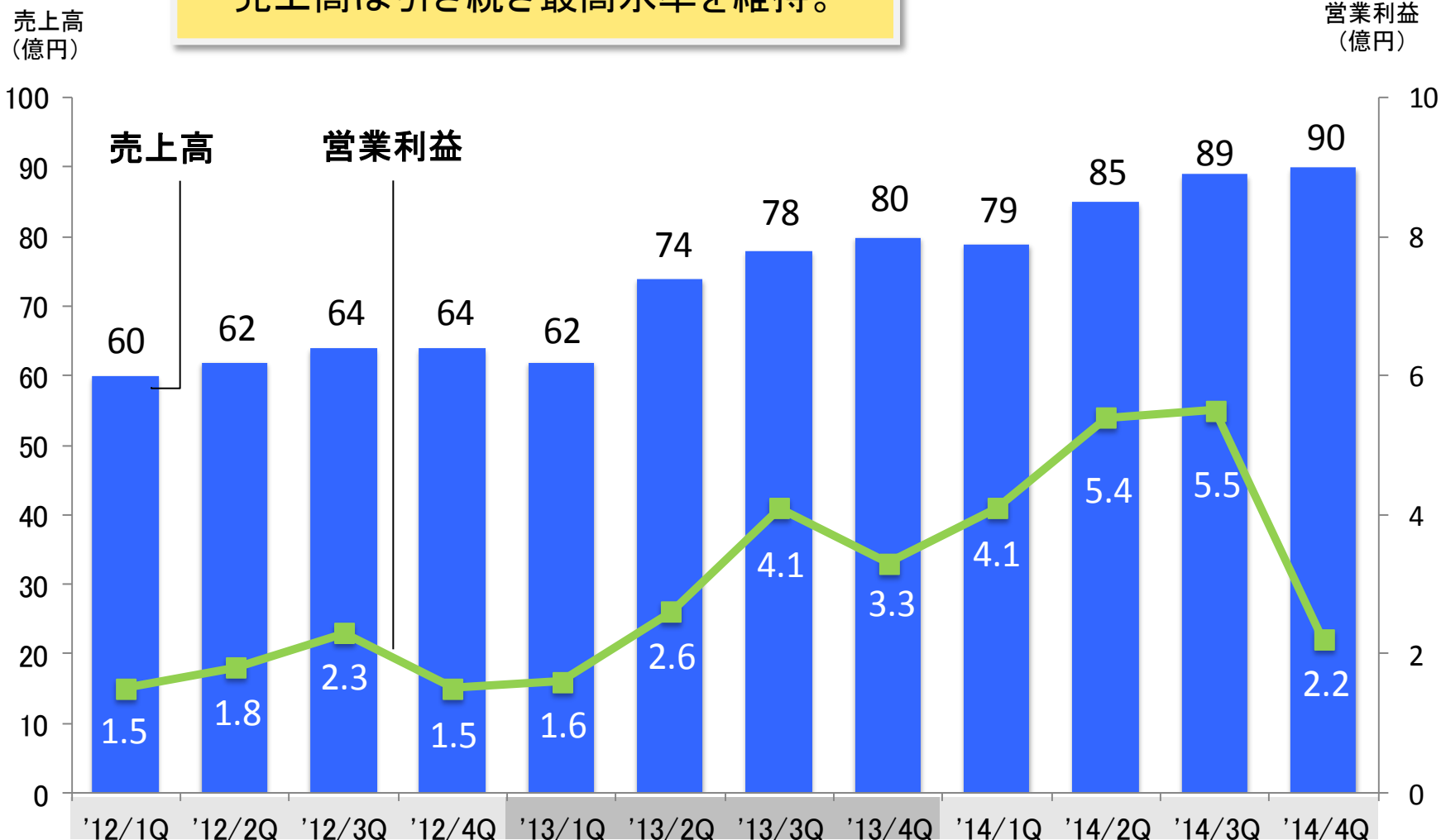
(単位:百万円)

	2014年3月期 (実績)		2015年3月期					
			修正予想 (2015/2/6公表)		実績		前年差 (前年比)	修正予想差 (修正予想比)
売上高	29,436		34,040		34,392		4,956 (116.8%)	352 (101.0%)
営業利益	3.9%	1,161	5.0%	1,711	5.0%	1,724	562 (148.4%)	13 (100.8%)
経常利益	3.6%	1,047	4.7%	1,600	4.7%	1,617	569 (154.4%)	17 (101.1%)
当期純利益	2.4%	720	3.3%	1,134	3.5%	1,188	467 (164.9%)	54 (104.8%)



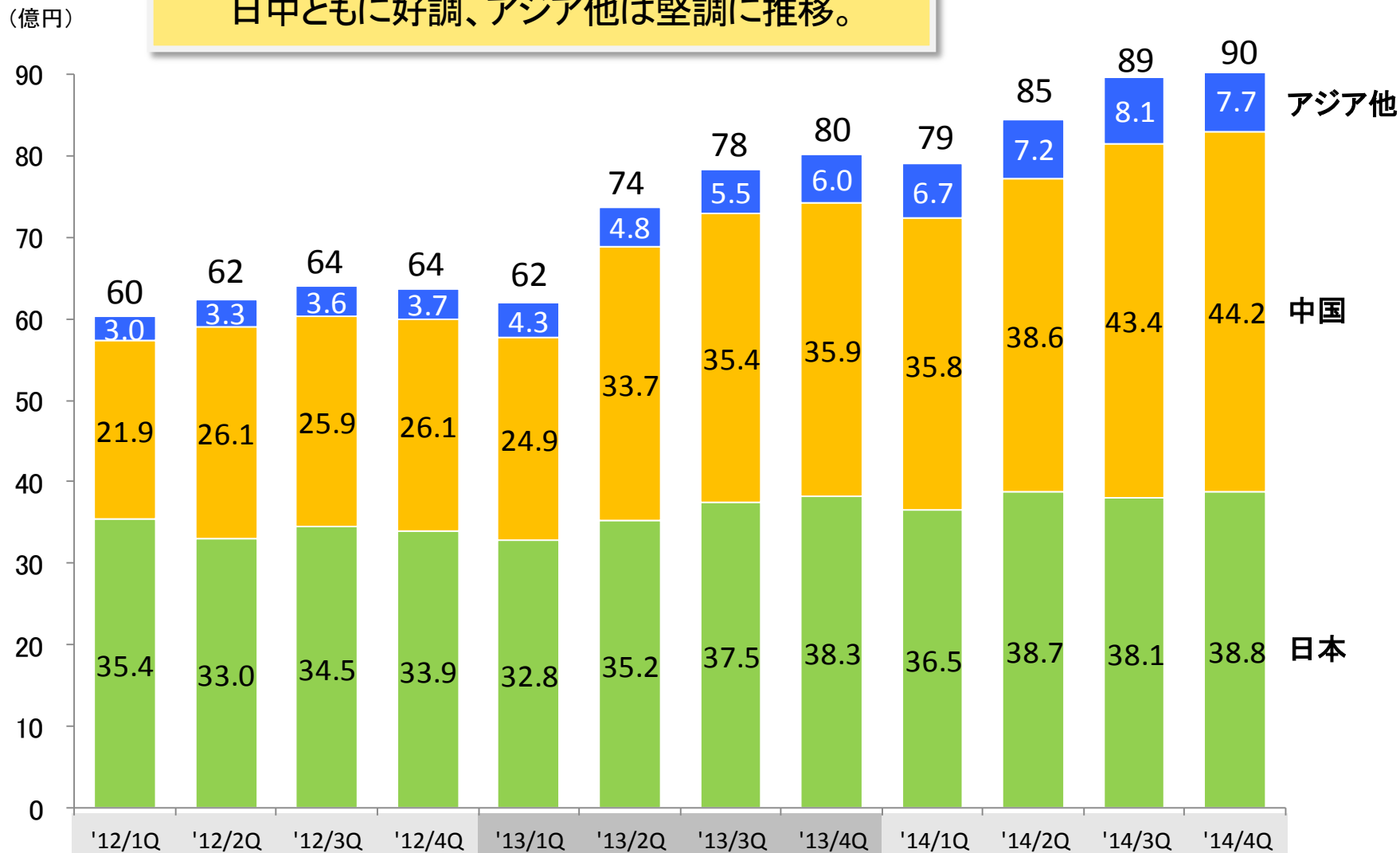
売上高と営業利益の推移

売上高は引き続き最高水準を維持。

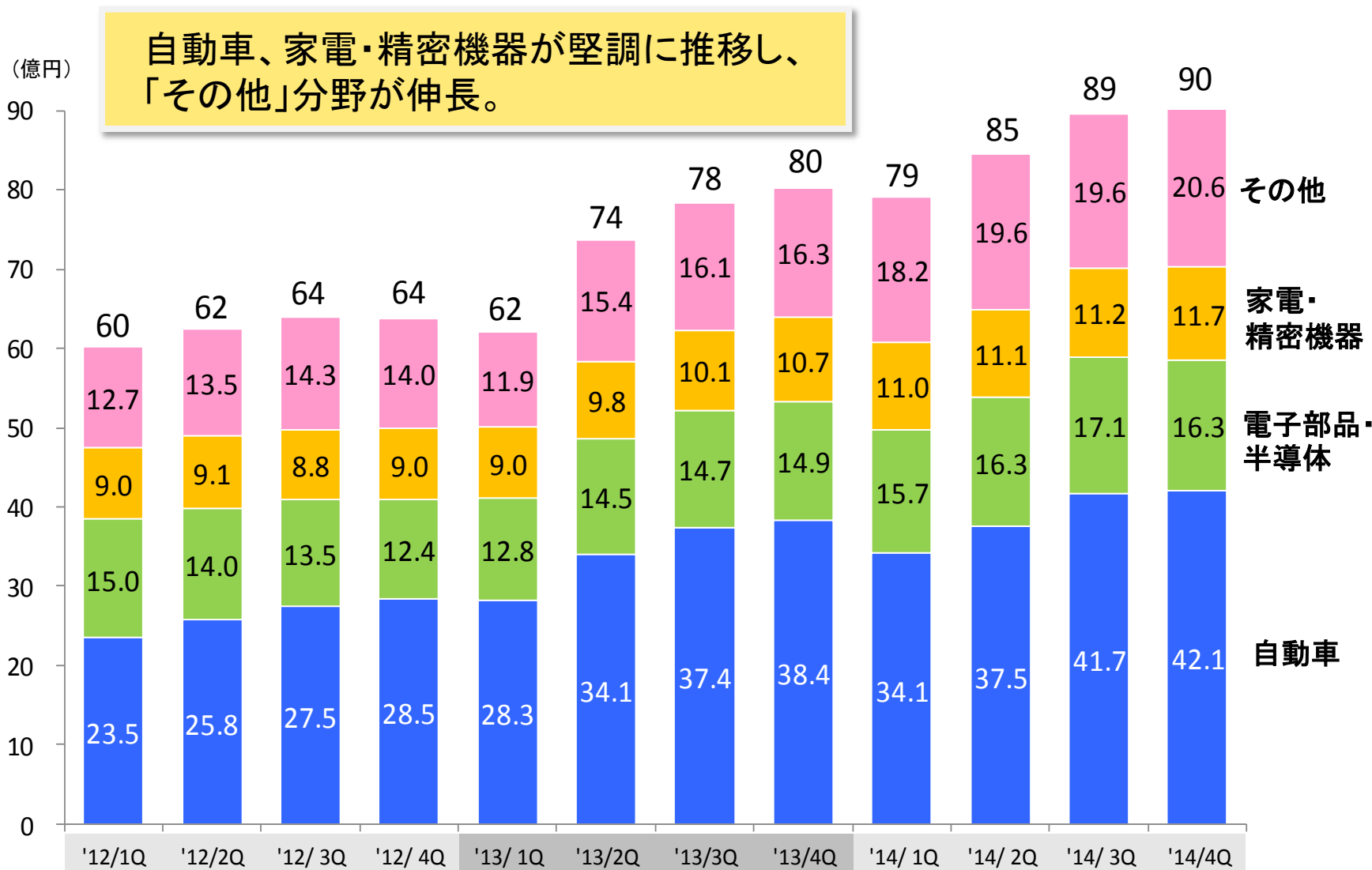


地域別売上高

日中ともに好調、アジア他は堅調に推移。



業種別売上高

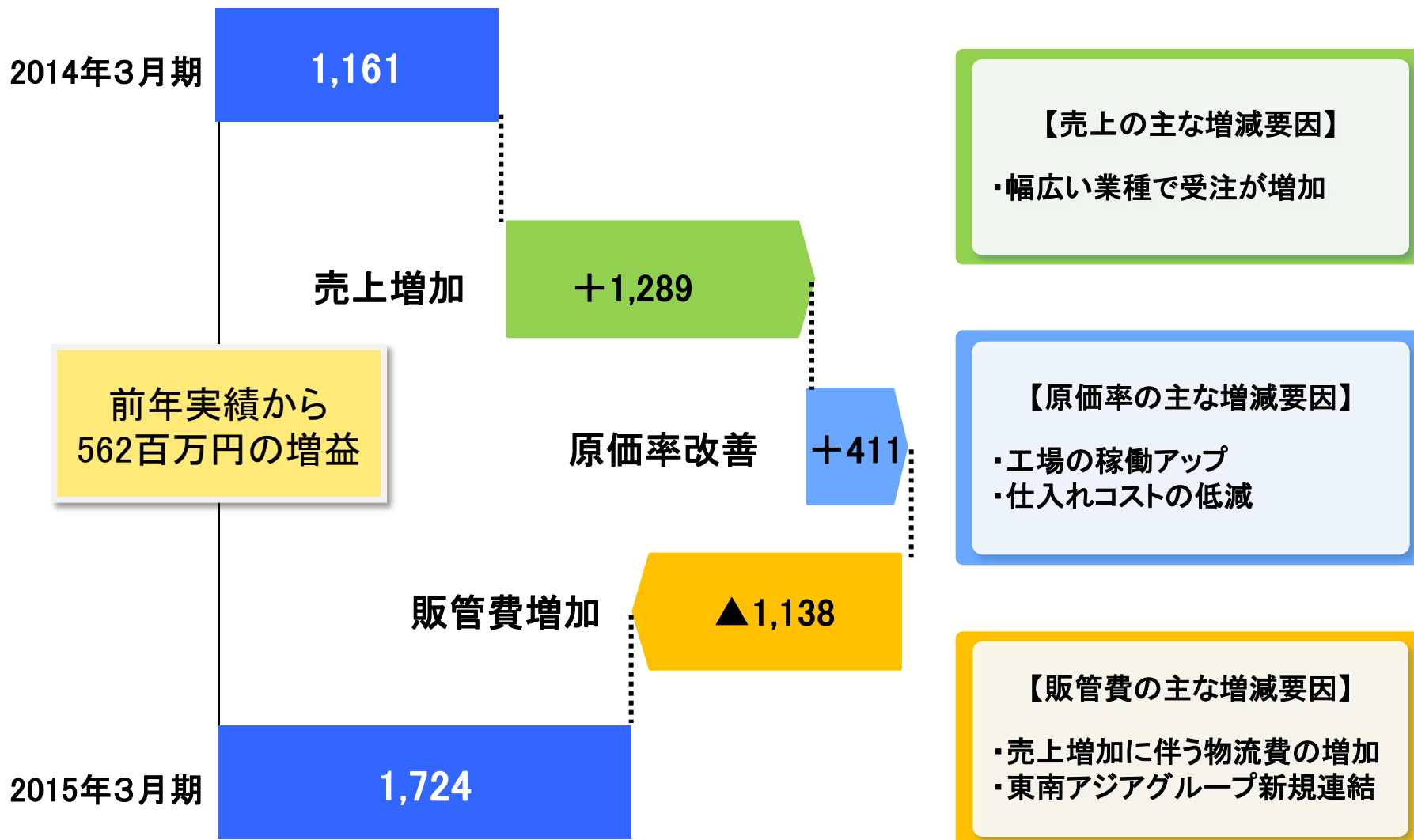


(業種別売上高のグラフは、業種区分見直しに伴い遡及修正をしております。)



営業利益増減

(単位:百万円)



2015年3月期 貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2014年3月期末	2015年3月期末	比較増減
総資産	24,471	29,623	5,152
総負債	15,108	15,418	310
うち有利子負債	7,743	7,155	▲588
純資産	9,362	14,205	4,842
ネット資金	▲6,216	▲3,853	2,362

自己資本比率	38.2%	47.9%	9.7ポイント
自己資本利益率(ROE)	9.6%	10.1%	0.5ポイント

設備投資額(無形固定資産含む)	621	1,296	675
減価償却費(無形固定資産含む)	1,170	1,316	146



2015年3月期 キャッシュ・フローサマリー

(単位:百万円)

	2014年3月期	2015年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,194	1,805
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,252	▲1,180
フリーキャッシュ・フロー	▲58	624
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲370	1,013
現金及び現金同等物の増減額(換算差額含む)	▲234	1,795
現金及び現金同等物の期末残高	1,506	3,302



3. 2016年3月期 業績予想

2016年3月期 業績予想概況

経済環境は依然として不透明感があるものの、中期経営計画「バリュークリエーション15」の次のフェーズも視野に入れつつ、各施策を着実に実行し、増収増益を目指す。

売上	連結	自動車や電子部品・半導体を更に強化し、中国、東南アジア、インドでの積極的な展開、欧米での販路拡大、新市場・新分野の開拓で前年比8%増の370億円を見込む。
	日本	堅調な自動車、家電・精密機器、産業機械を更に強化し、食品・飲料関連等の新分野の拡大を図り、前年比3%増の156億円を見込む。
	中国	堅調に推移すると見られる自動車や電子部品関連を中心に販売を強化するとともに、戦略製品の拡販及び内陸部展開を進め、前年比9%増の177億円を見込む。
	その他	東南アジア・インドでの事業拡大及び欧米での拡販を行い、37億円を見込む。
利益		単体収益体質改革活動に加えて、中国の戦略製品の拡販やその他の地域での事業拡大等により増加を見込むものの、引き続き研究開発強化等による先行投資もあり、営業利益は20億円、当期純利益は13億円を見込む。



2016年3月期 業績及び配当の予想

(単位:百万円)

	2015年3月期 (実績)		2016年3月期 (予想)		前年差	前年比
売上高		34,392		37,000	2,607	107.6%
営業利益	5.0%	1,724	5.4%	2,000	275	116.0%
経常利益	4.7%	1,617	5.1%	1,900	282	117.5%
当期純利益	3.5%	1,188	3.5%	1,300	111	109.4%
自己資本利益率 (ROE)		10.1%		8.8%	▲1.3ポイント	

2016年3月期
配当予想

中間 12円50銭 + 期末 12円50銭 = 25円

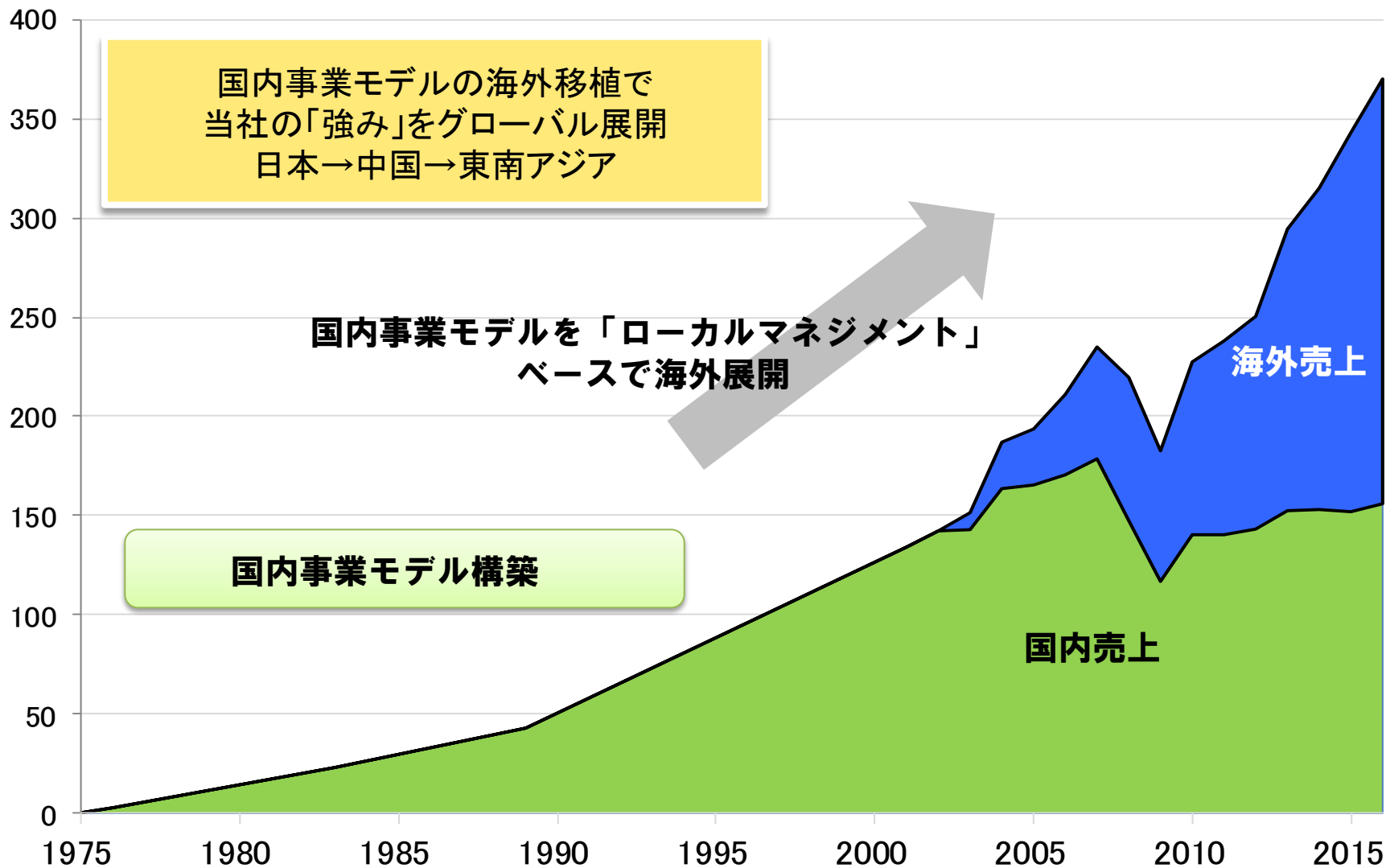


4. 中期経営計画 「バリュークリエーション15」の進捗



パンチグループの歩み

(億円) 【1975年度からの売上高推移】



中期経営計画「バリュークリエーション15」の基本戦略

中期経営計画「バリュークリエーション15」の総仕上げを行い、次のフェーズへ。

	日本	中国	東南アジア他
① グローバル化	■ グローバルマネジメント体制を構築し、「攻め」と「守り」を統括		
	■ 欧米市場戦略		
② 新市場の開拓	■ 研究開発本部とマーケティング本部の連携により、新市場・新分野を開拓	■ 内陸部市場攻略	■ 東南アジアグループをコアに事業拡大 ■ インド事業拡大
③ 高収益事業への転換		■ 戦略製品拡販	■ 超硬事業拡大

世界のパンチを目指し、経営基盤を更に強化



地域別の進捗①日本

2014年4月に研究開発本部を新設し、日中連携による研究開発体制を強化。2015年4月には経営戦略室とマーケティング本部を新設し、グローバル展開を加速。

【主要なプロジェクト】



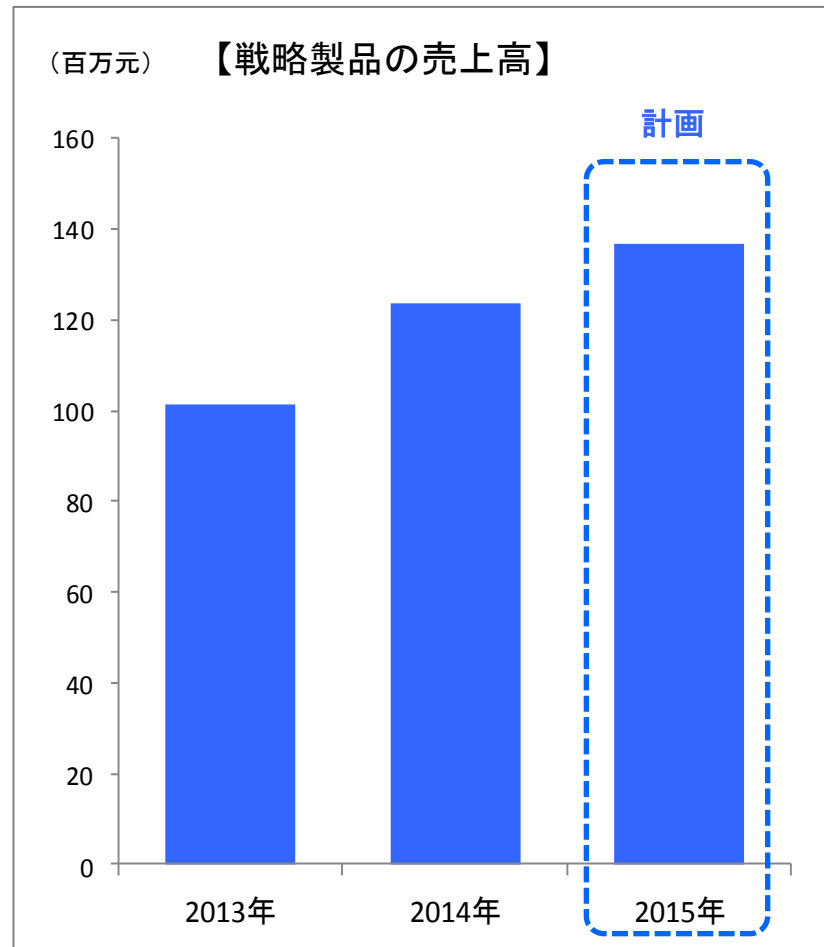
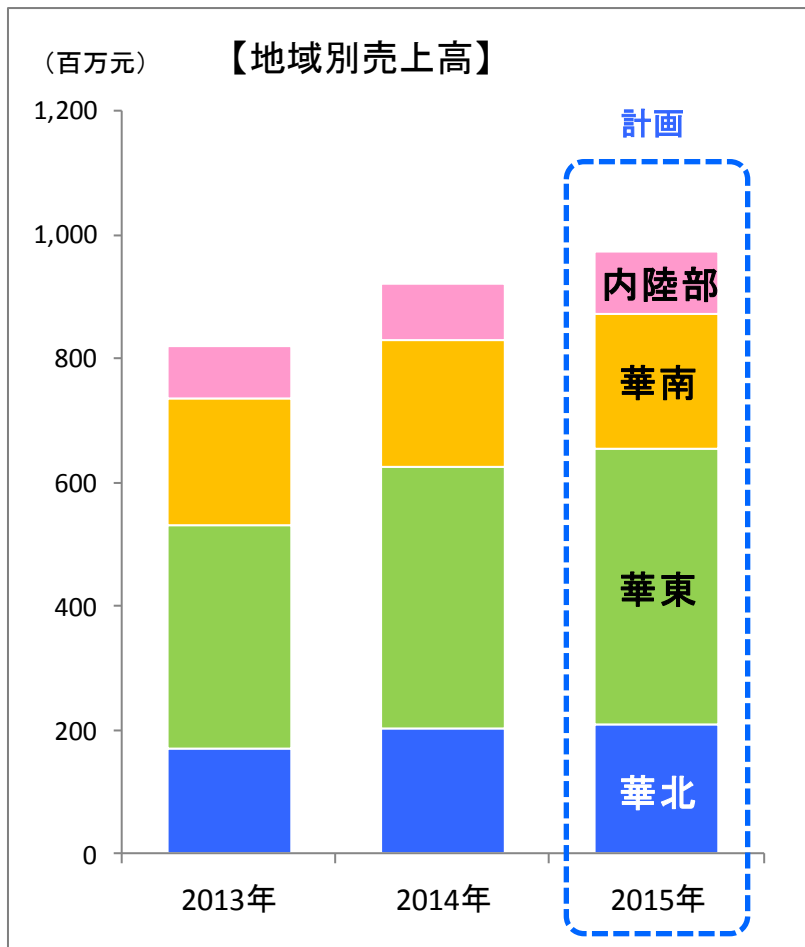
地域別の進捗②中国

内陸部攻略

内陸部市場は引き続き拡大しており、
需要を着実に取込む。

戦略製品拡販

戦略製品のラインアップ拡充に取り組む。



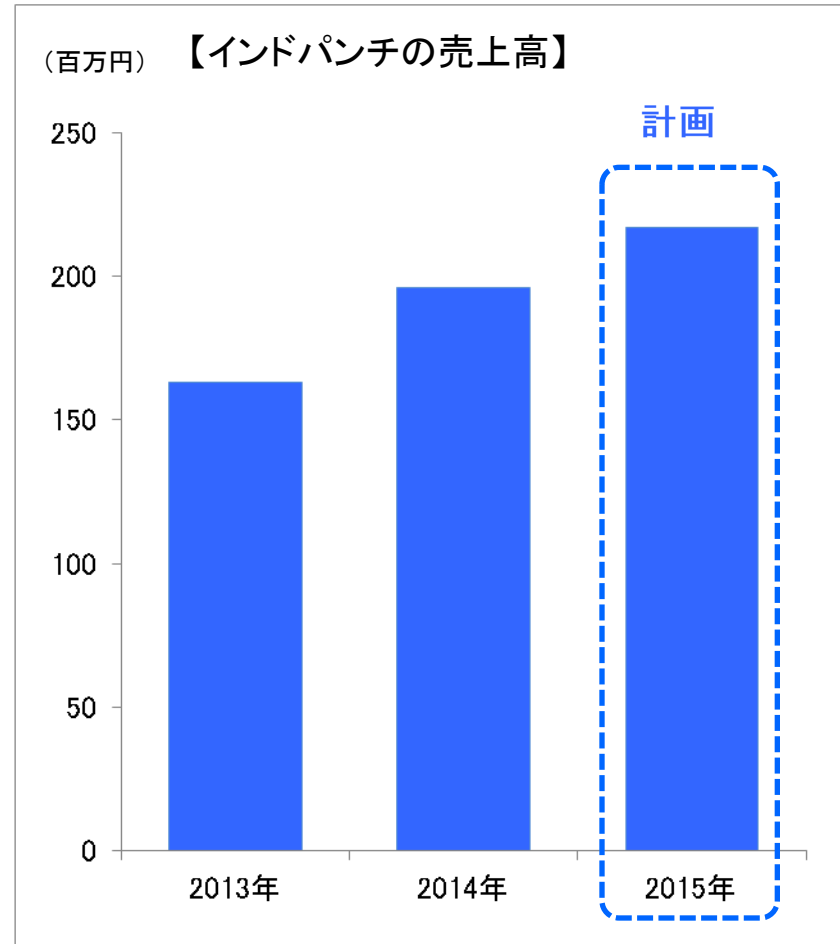
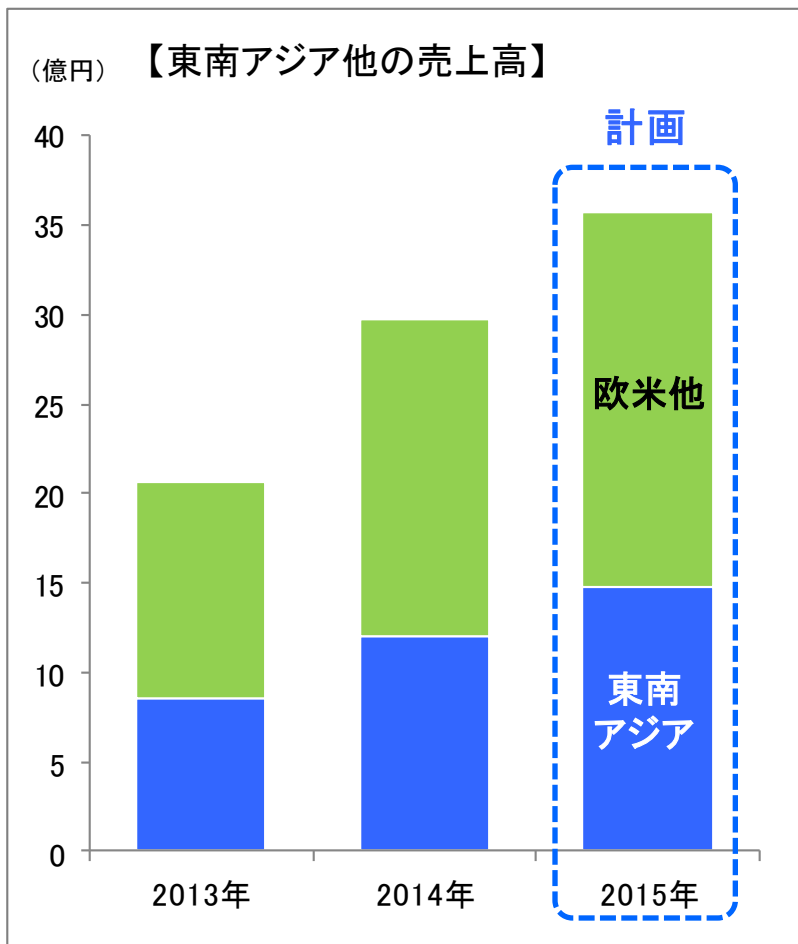
地域別の進捗③東南アジア他・インド

東南アジア他

国境を越えた横展開で、販売体制を強化。

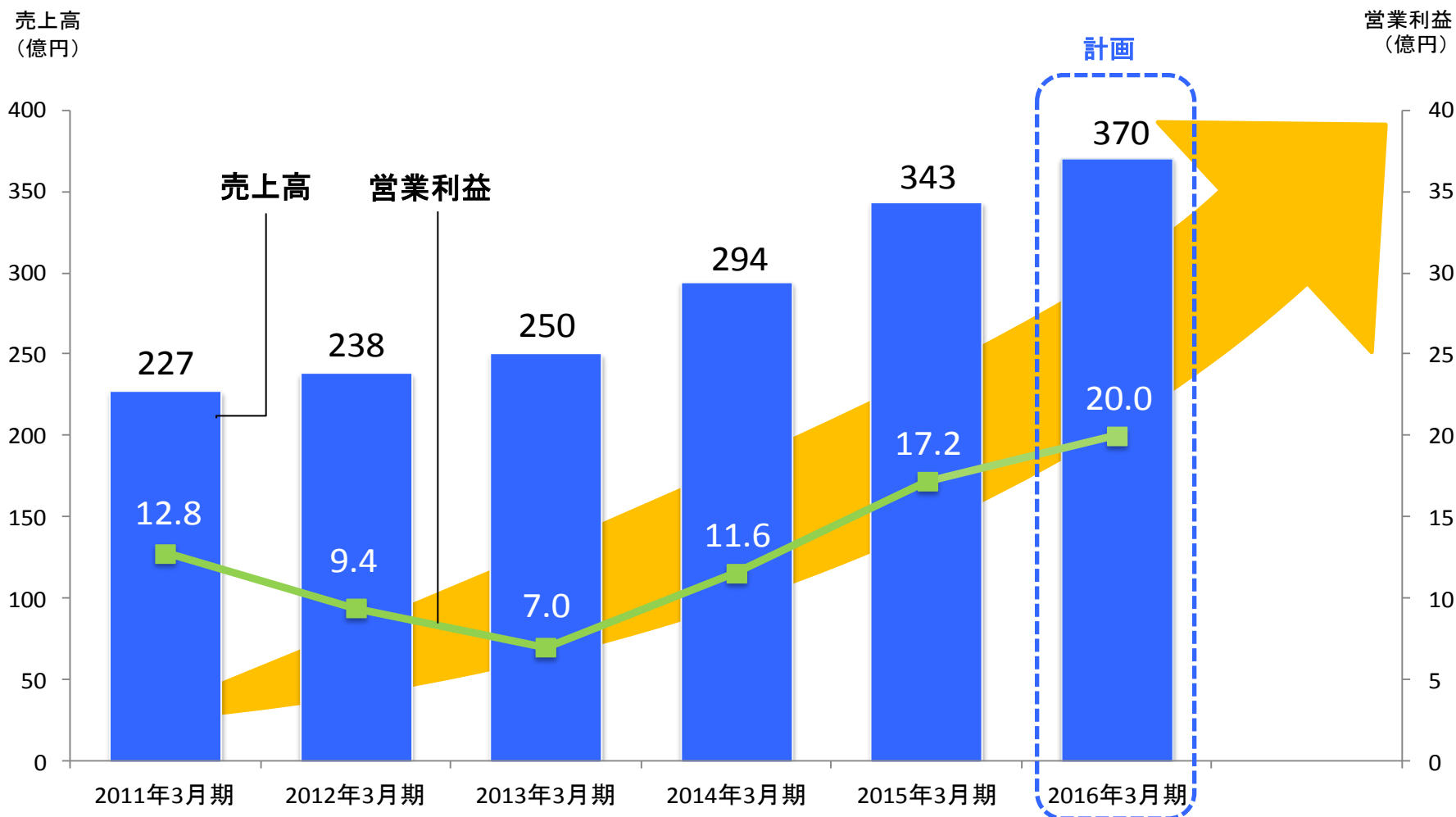
インドパンチ

経済成長に合わせた事業領域の拡大に取り組む。



次のフェーズに向けて

持続的な企業価値の向上を確実なものとするべく、次のフェーズを視野に入れる。



5. 参考資料

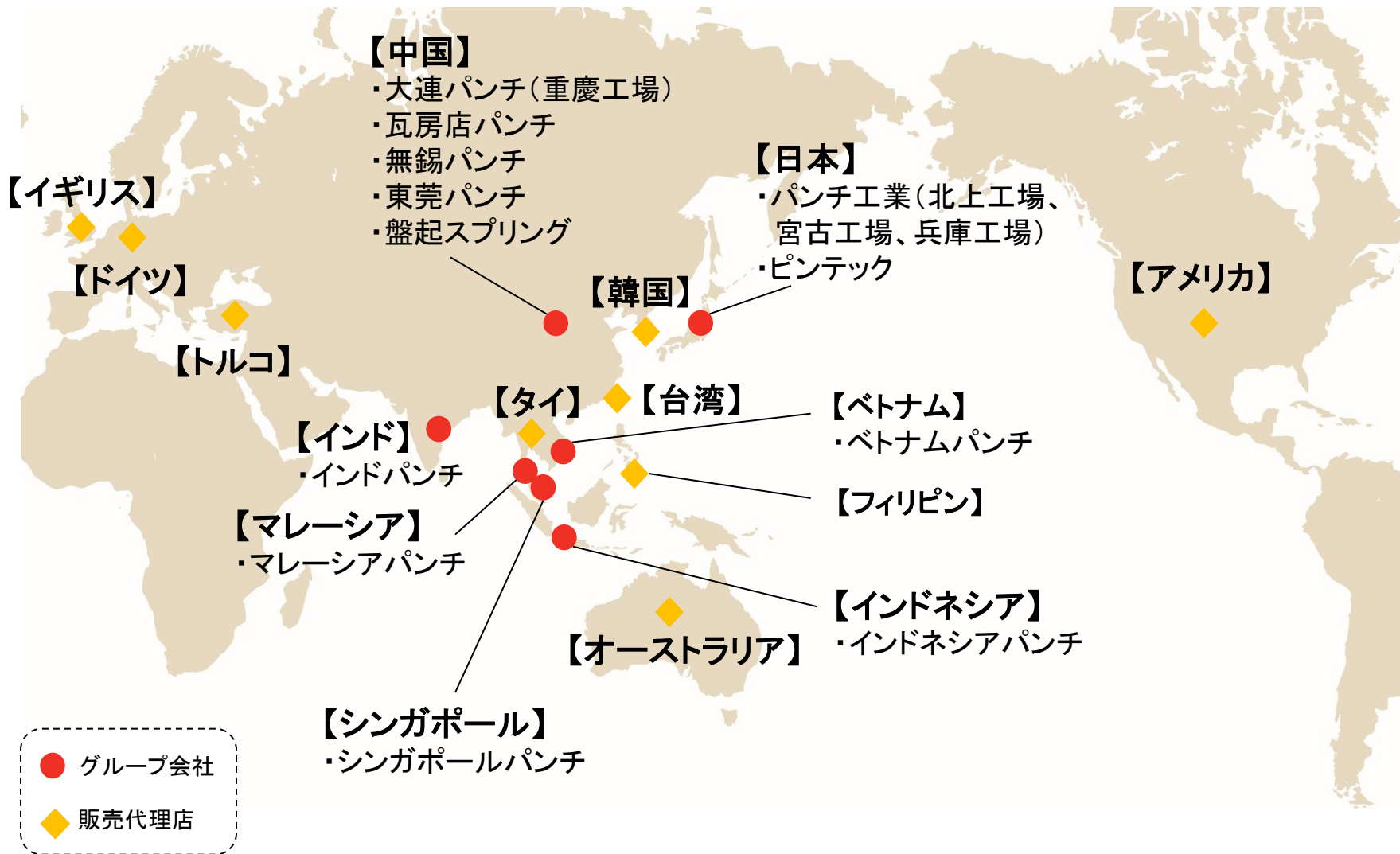
会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都港区港南二丁目12番23号
設立	1975年3月
資本金	28億9,773万円
従業員数	3,833名(グループ連結、2015年3月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弹簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD.(マレーシア・クアラルンプール)※ PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア)

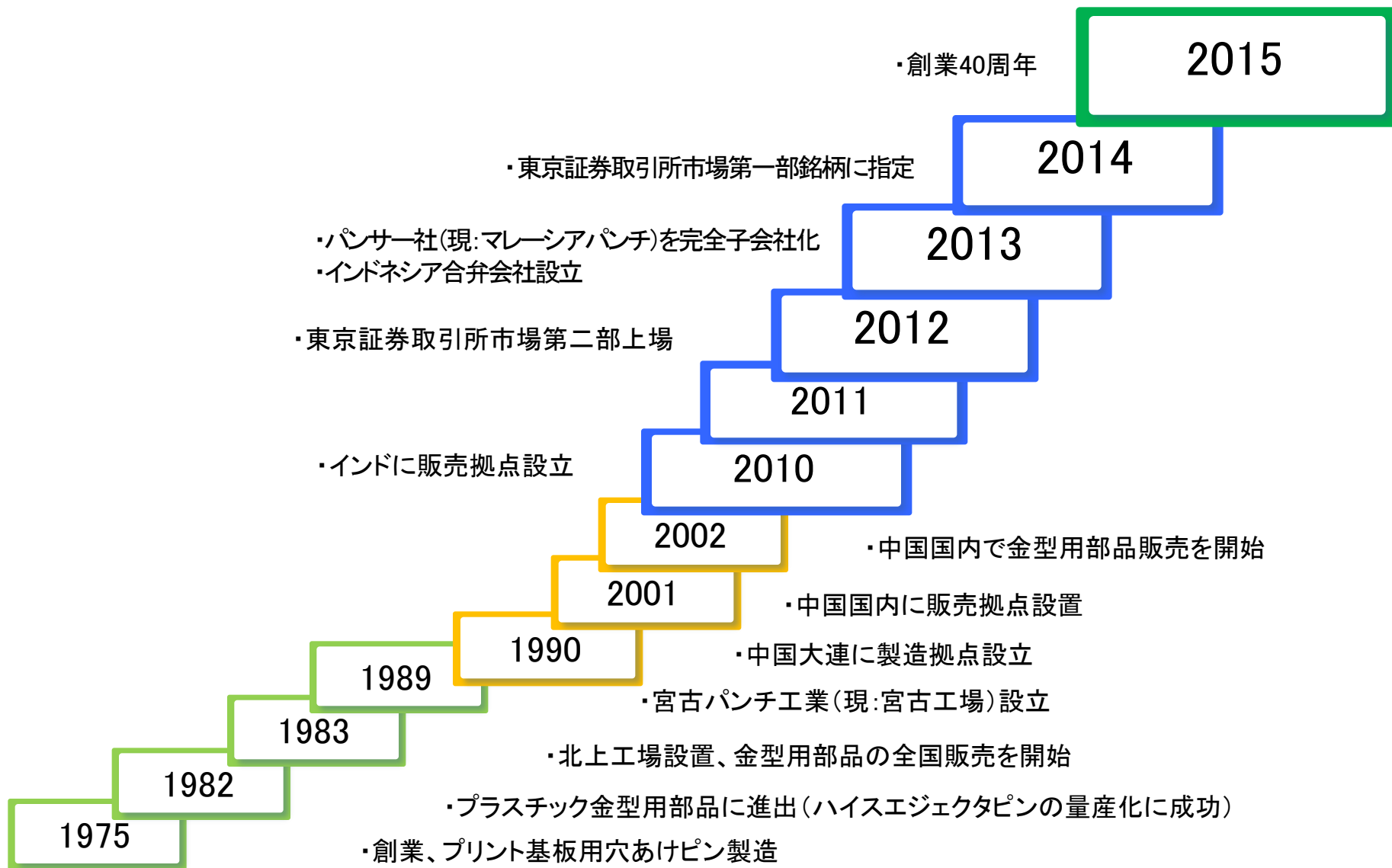
※PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD. は、PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.に事業を移管したため、清算手続中でありませぬ。



パンチグループのネットワーク

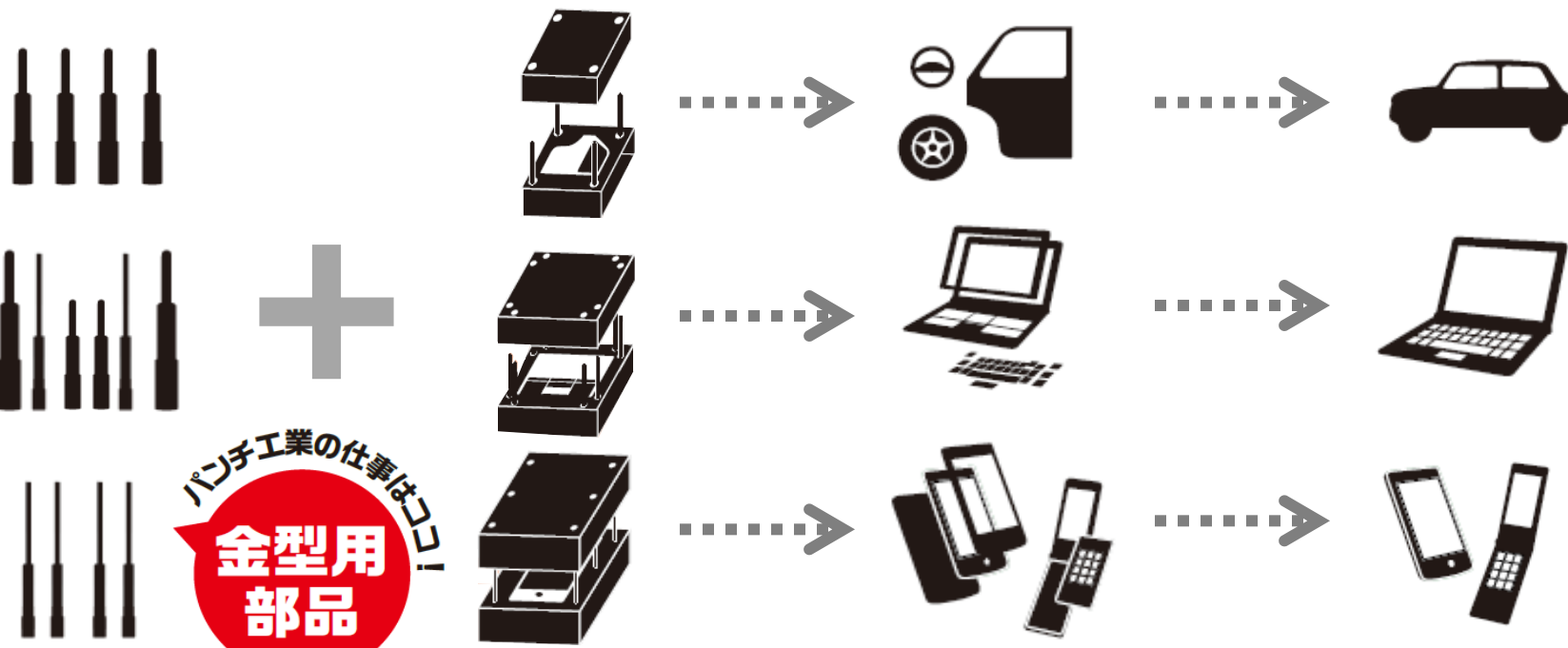


沿革



事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売



たとえばこんな部品



金型

構成部品を速く、
均一に、大量につ
くるための金属で
できた「型」

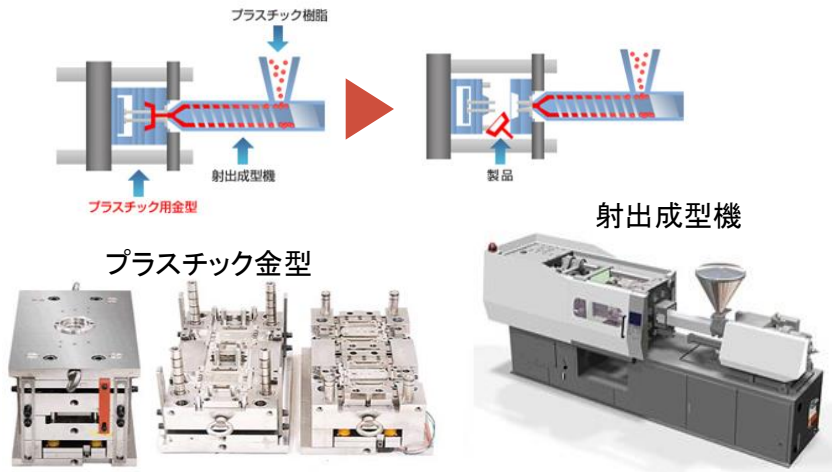
構成部品

製品を構成する
ために必要となる
パーツ

製品

自動車や家電など
私たちが身近で使
うさまざまな製品

プラスチック金型と金型用部品



エジェクタピン



スプルーブシュ・ロケートリング

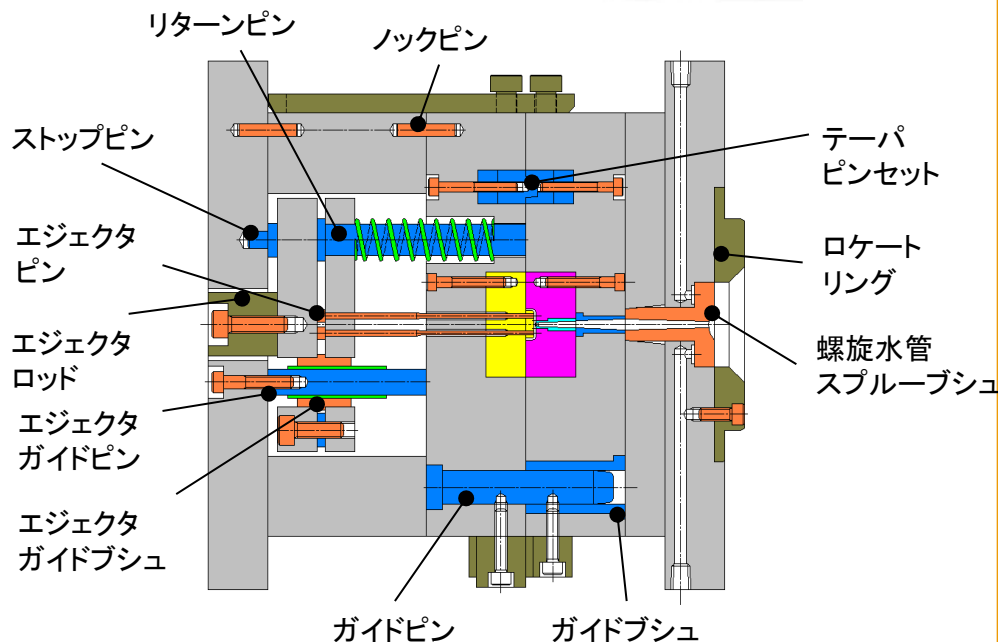
●プラスチック金型用部品について

プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られております。

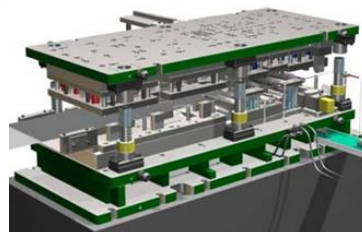
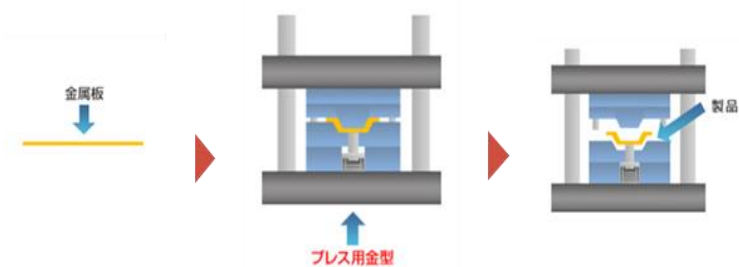
当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スプルーブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

エジェクタピン・・・ 成型品を金型から離し、突き出すための部品

スプルーブシュ・・・ 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品



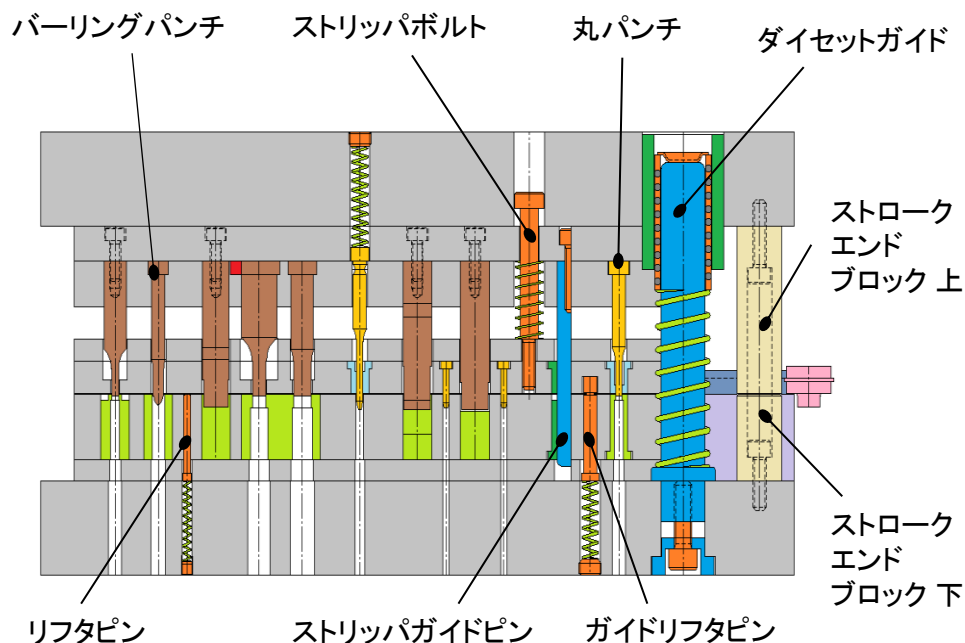
プレス金型と金型用部品



プレス金型

パンチ

ダイセットガイド



●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用される金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

- パンチ…………… パンチは材料に推しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品
- ダイセットガイド… 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品



パンチグループの強み

お客様に高い満足度を提供



一気通貫の生産体制
1,700台の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制
きめ細かな対応・提案力

高い技術力
創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発

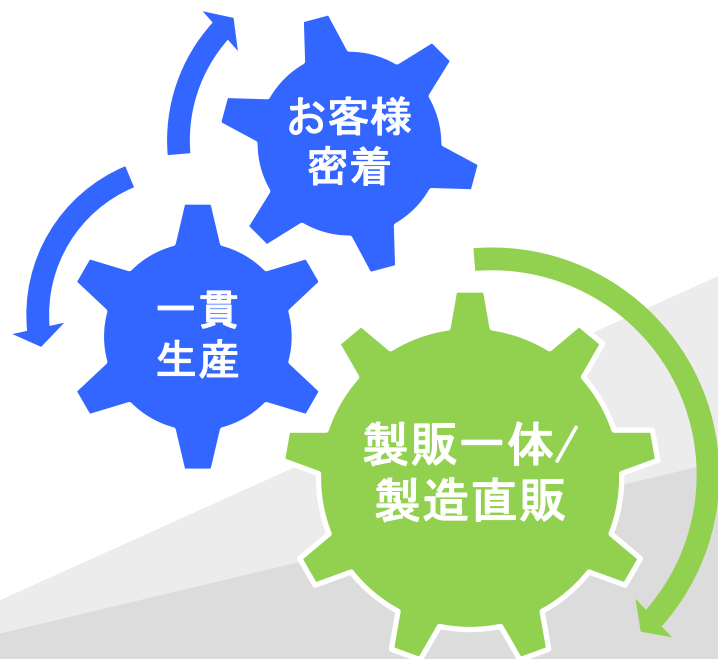


CSR経営と企業ビジョン

CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるために
CSR経営を実行しています。

企業ビジョン

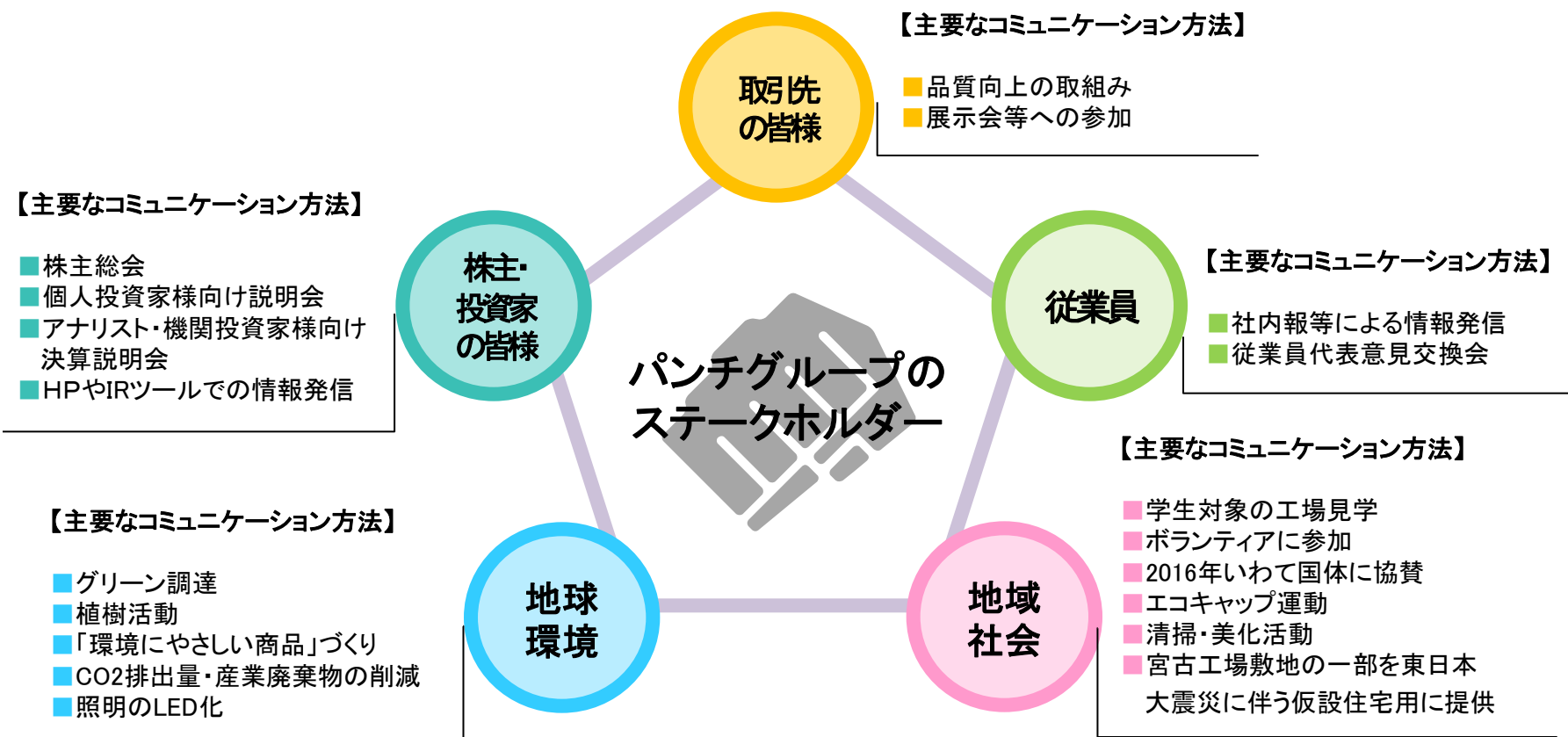


世界のパンチへ

金型部品業界での
トップブランドを確立し
製販一体企業としての
優位性を活かした
高収益企業を目指す



ステークホルダーとのコミュニケーション



決算説明会の様子



個人投資家様向け会社説明会の様子



植樹活動の様子



エコキャップ運動

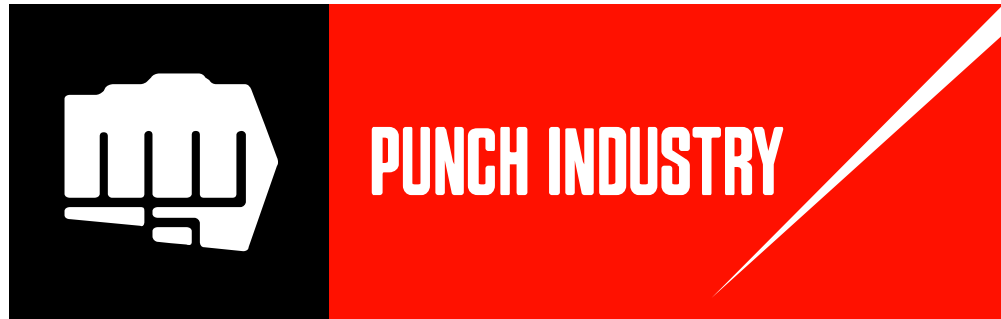


【環境にやさしい】
マーク

本日はありがとうございました。

IRに関するお問い合わせ先

パンチ工業株式会社 総務部コーポレート課
電話：03-5460-8237 e-mail: info-corp@punch.co.jp



将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。